科目名	上級簿記Ａ　　Advanced Bookkeeping A						
科目担当者	出山 実　　IDEYAMA Minoru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　基礎専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	企業取引の複雑化、会計基準の国際化に伴い、簿記処理の高度化（金融商品や退職給付会計など）が進んでいます。近年は、会計ソフトの発展で、簿記処理を逐一覚える必要がないとの論調もありますが、逆にこのような時代だからこそ、１つ１つの簿記処理の理論的背景を把握し、その取引が持つ意味を理解できることが必要になります。本講義では、日商簿記 1 級レベルの商業簿記・会計学を学習します。 講義の進め方は、テキストに基づいて、前半は講義、後半は演習問題と解答解説を行います。						
授業の到達目標	①ビジネス社会で求められる高度な簿記知識・簿記理論を習得する。 ②資産会計、負債会計、純資産会計などの貸借対照表科目について理解する。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション
	2	企業会計と財務諸表
	3	現金・預金と保証債務
	4	貸倒引当金
	5	有価証券
	6	有形固定資産
	7	減損会計 1
	8	資産除去債務 1
	9	リース会計
	10	負債、退職給付会計 1：負債会計の基礎知識
	11	社債 1
	12	純資産 1：純資産の知識
	13	商品
	14	外貨換算会計
	15	デリバティブ

授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を確認する(1 時間程度)
授業外学修 (事後学修)	講義で学んだ内容に関する練習問題を課す（3 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 小テスト	90% 10%	①② ①②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『サクッとうかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 1 テキスト』(ネットスクール出版) 『サクッとうかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 2 テキスト』(ネットスクール出版)
参考文献	
その他	＜どのような学生の受講が望ましいか＞ ・簿記・会計の分野に興味がある学生 ・日商簿記 2 級、全商簿記１級レベルの学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生 ＜あらかじめ受講して欲しい科目＞ なし ＜併行して受講して欲しい科目＞ 会計学